

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	快適な生活環境の確保					
(2)	総合計画の体系	第 5 章	環境を守り育てるまちづくり				
		第 1 節	環境負荷の少ない住みよいまちづくり				
		第 20 細節	快適な生活環境の確保				
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額	
		事業費(A)		115,589	102,622	117,896	
		従事職員数		9.00 人	8.80 人	8.30 人	
		所要人件費(B)		71,530	73,504	67,811	
		総事業費(A+B)		187,119	176,126	185,707	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	301	318	477
				その他	60,884	63,395	83,838
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	125,934			112,413	101,392		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	26年度実績	27年度実績	28年度計画
指標内容	環境美化推進重点地区	目標値 (単位:箇所)	5.00	6.00	7.00
		実績値 (単位:箇所)	5.00	6.00	
		達成度(%)	100.0	100.0	
目標値の積算方法	毎年1箇所地区指定				
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)	0.0	0.0	
目標値の積算方法					

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

継続した快適な生活環境の確保に向け、法令や条例により指導や規制を行う事業は法令等の一層の遵守を行います。

また、市民が主体となり推進できる事業は市民・事業者との協働の中で推進できる体系を構築しました。

環境美化に関する事業においては、環境美化推進重点地区等の指定や環境美化推進団体の増加により、市民・事業者・行政が連携した環境美化の推進体制が整いつつあります。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低					合計	今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性		
1	環境美化啓発事業	地域環境課	00650	全部	大	20	20	18	20	18	96	拡充
2	環境美化清掃委託事業	地域環境課	00651	全部	大	18	18	20	20	10	86	拡充
3	アライグマ等危険動物捕獲事業	地域環境課	00648	全部	大	14	14	20	20	16	84	継続
4	飼い猫等避妊・去勢手術補助事業	地域環境課	00642	全部	大	20	18	16	20	18	92	継続
5	衛生害虫等駆除事業	地域環境課	00639	全部	大	14	18	20	18	20	90	継続
6	旅館営業規制事務事業	地域環境課	00647	全部	大	16	18	18	18	18	88	継続
7	看板撤去関係事業	地域環境課	00649	一部	大	16	16	14	20	16	82	継続
8	市有墓地管理事業	地域環境課	00640	全部	大	14	18	16	20	16	84	継続
9	市営葬儀に関する事業	地域環境課	00643	全部	大	14	20	16	18	18	86	継続
10	火葬事業	地域環境課	00645	全部	大	16	18	14	20	18	86	継続
11	狂犬病予防事業	地域環境課	00638	なし	大	12	20	14	20	20	86	継続
12	中高層建築物に係る指導・紛争調整事務事業	地域環境課	00646	全部	大	16	18	16	16	18	84	継続
13	空地管理事業	地域環境課	00641	全部	大	14	16	18	20	20	88	継続
14	専用水道・簡易専用水道等衛生管理指導事業	環境保全課	00652	なし	中	14	20	14	14	20	82	継続
優先順位をつけるにあたっての考え方		<p>快適な生活環境の確保策については様々な角度からの事業を実施していますが、概ね日常生活への関連度が高い業務を上位としました。なお、アライグマ等危険動物捕獲事業については、大阪府下でも捕獲頭数が増加傾向にあることから上位としています。</p>										

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
15	感染症予防事業	地域環境課	00637	なし	大	14	18	16	18	16	82	継続
16	河川親水環境整備事業	水循環室	00773	一部	大	12	16	10	14	14	66	継続
17											0	
18											0	
19											0	
20											0	
21											0	
22											0	
23											0	
24											0	
25											0	
26											0	
27											0	
28											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		<p>快適な生活環境の確保策については様々な角度からの事業を実施していますが、概ね日常生活への関連度が高い業務を上位としました。なお、アライグマ等危険動物捕獲事業については、大阪府下でも捕獲頭数が増加傾向にあることから上位としています。</p>										